黄金の

訳作作詞曲詞

な リンゴの木 を 植え

る

タあ夕娘うた 秋あ秋春植べあべらえわ にあににえ に 前たわは ははた 花わけ唄うたう

楽歌 ろの 乙女の 心も燃えているとめあ リンゴがまっかに実るときりンゴがまっかに実るときいカゴがまっかに実るとき楽園ここだといってくれいな空遠くこだまして

黄金のリンゴの木を植えた

詞】フオ・ナム・キイ 曲】キム・オク・ソング

た を 植 えた な ンゴの

秋春 植 ににえ は白いた は う。真り に花 花 が咲き が 咲く

あ実 がが あ 3 春 に は

花 が咲き 秋には

まっ かな実がみ か る

= 2

10 娘ら うえたら村に幸が咲く 夕べにや花 木を植えた 朝 わなリンゴの ひるほほえ わけ唄うたう

ああ娘ら

べにや るほほえんで タベにや

け唄うたう

黄金のリンゴの木を植えた

:詞】フオ・ナム・キイ・曲】キム・サン・オク・ソング

3

歌よ空遠くこだまして 楽園ここだとい **つ** こてくれ

実るとき リンゴがまっかに

ああ 乙女の心も燃えていると リンゴが

まっかに実るとき

心も燃えていると 。 乙 女 の

4.

たわわなリンゴの

木をうえた

うえたら国中花が咲く

大きな一つ この国花咲く社会主義 の楽園よ

ああ この国花咲く

社会主義の

十つの 楽園よ 大きな 大きな